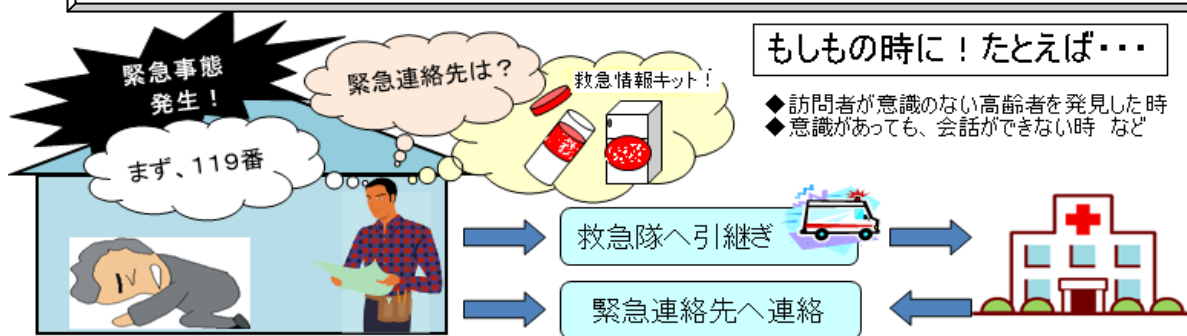


海苔の空容器を利用した 救急情報キットについて



「救急情報キット」とは、ひとり暮らしや昼間独居の高齢者の方等が、自分の氏名、年齢、緊急連絡先、かかりつけ医、持病や服薬内容などの情報をいれた海苔等の空容器を冷蔵庫に保管しておくことで、緊急時に活かすものです。例えば、病気や怪我で倒れた場合、救急隊員や第一発見者などが、冷蔵庫の中から容器を取り出し、中の情報を見ることで、身元や日頃の身体の状態などがすぐにわかり、迅速、的確に救護ができ、身内など関係者にもすぐに連絡できます。また、搬送先の医療機関でも、医療行為の参考や家族等との連絡に役立つことができます。

※救急情報キットは、救急隊が救急活動に必要と判断した場合に活用します。そのため、「救急情報キット」があることが分かっている場合、病状などによっては、活用されない場合があります。



◎救急情報キットの中に入れるもの（例）



- ① 救急情報用紙 ※▲
- ② 保険証 (のコピー)
- ③ 診察券 (のコピー)
- ④ 普段飲んでいる、お薬の説明書 (コピー可)
- ⑤ その他
障害者手帳 (コピー)、常備薬やご本人が確認できる写真等

※▲ ①救急情報用紙は「災害時要援護者登録申請者兼登録台帳」を兼用します。

◆ご希望の方は、「災害時要援護者登録申請者兼登録台帳」の「救急情報キットを希望しますか。」の欄の (はい) に○を付けてください。

〈お問い合わせ先〉 南知多町社会福祉協議会 電話 65-2687